



(左上) 小林 頼子(目白大学メディア表現学科教授) (左下) 鈴木 理策(写真家、東京藝術大学美術学部先端芸術表現科准教授)

(上中)『改訂新版 フェルメール論』(八坂書房: 2008年) (上右)『限定版 フェルメール全作品集』(小学館: 2011年)

(下中) SAKURA 16.4-22/2016年 (下右) 写真集『Atelier of Cézanne』(Nazraeli Press刊)より/2009年 共に、(c)Risaku Suzuki/Courtesy of Taka Ishii Gallery

(右) 絵画鑑賞システム『ViewPaint フェルメール《牛乳を注ぐ女》』より/製作・著作:凸版印刷株式会社/監修:小林頼子(目白大学教授)/

Original photo data: Het Melkmeisje [The Milkmaid] by Johannes Vermeer ©Rijksmuseum Amsterdam. Purchased with the support of the Vereniging Rembrandt.



VR Visionary Talk

VR Visionary Talk

「新フェルメール論!? ～名画誕生のアルゴリズムに迫る～」

を12月12日(月)に六本木アカデミーヒルズで開催

凸版印刷株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:金子眞吾、以下 凸版印刷)は、森ビル株式会社アカデミーヒルズと共同で、六本木アートカレッジ セミナーシリーズ VR Visionary Talk「新フェルメール論!? ～名画誕生のアルゴリズムに迫る～」を2016年12月12日(月)に六本木アカデミーヒルズで開催します。

今回のセミナーは、鮮やかな色彩術や美しい光の表現力、絵画とは思えないほどリアルな細部の描写などの特徴から西洋絵画で最も人気の高い作家のひとりである「フェルメール」をテーマに開催。スピーカーに、日本を代表するフェルメール研究者である小林頼子氏、そして、木村伊兵衛写真賞の受賞者でもある写真家の鈴木理策氏をお招きし、19世紀に完成を遂げるカメラの視角を先取りするような革新性をもつ、フェルメールの「眼」というレンズが捉えた画角に着目し、《牛乳を注ぐ女》をはじめとする作品が誕生したアルゴリズムの読み解きに挑戦します。

フェルメールを知り尽くした専門家と、カメラの画角を巧みに操り自然風景から魅惑的な画を切り抜くことを極めた写真家——両者の視点のコラボレーションから、これまでにないフェルメール像やその絵画観をあぶり出します。

また、本セミナーの読み解きでは、フェルメールの制作現場をよりリアルに追体験し、このコラボレーションの議論の正否を確かめるため、VR技術を用いて3DCGで絵画を三次元空間に再構築する、絵画鑑賞システム「ViewPaint」(※)を活用。《牛乳を注ぐ女》を現代ならではの手法により視点移動しながら鑑賞することで、フェルメールが描いた世界の新たな姿を垣間見ることができます。新しい「フェルメール論」誕生をぜひご期待ください。

「VR Visionary Talk」は、VRを始めとする最先端技術を使いながら、さまざまなジャンルの有識者が知的好奇心を刺激するトークを繰り広げ、美術館や博物館での鑑賞とは違った視点で文化財の魅力を体感できるセミナーシリーズです。

- 名称: 六本木アートカレッジ セミナーシリーズ
VR Visionary Talk 「新フェルメール論!? ～名画誕生のアルゴリズムに迫る～」
- 会場: 六本木アカデミーヒルズ(六本木ヒルズ森タワー49階)
- 日時: 2016年12月12日(月) 19:00-20:30 ■ 受講料: 4,000円 ■ 定員: 120名
- 申込みURL: <http://www.academyhills.com/school/artcollege/detail/toppan20161212.html>

[報道に関するお問い合わせ・掲載用写真について]

凸版印刷株式会社 文化事業推進本部 パブリシティ担当

E-mail: bunkajigyoh@toppan.co.jp TEL: 03-5840-4899 FAX: 03-5840-1910

□ 講師紹介



小林 頼子 (こばやし よりこ)

目白大学メディア表現学科教授

慶應義塾大学博士課程満期退学。2001年より目白大学社会学部教員。主要研究領域：17世紀オランダ絵画、グローバル時代の文化伝播。主要著作：『フェルメール論』（八坂書房）、『フェルメールの世界』（NHK出版）、『フェルメール全作品集』（小学館）、『花と果実の美術館』（八坂書房）、『庭園のコスモロジー』（青土社）、『グローバル時代の夜明け』（共著：晃洋書房・近刊）等。主要論文：Perspective and Its Discontents or St. Lucy's Eyes（共著）、Japan's Encounters with the West through the VOC等。



(左)『改訂新版 フェルメール論』(八坂書房: 2008年)
(右)『限定版 フェルメール全作品集』(小学館: 2011年)



鈴木 理策 (すずき りさく)

写真家、東京藝術大学美術学部先端芸術表現科准教授

1963年和歌山県新宮市生まれ。「見ること」への問いと写真のメディア性への関心を基底に、熊野、雪、桜といった主題の他、画家セザンヌが繰り返し描いた南仏のサント=ヴィクトワール山やセザンヌのアトリエを撮影した作品を発表。また、鏡像を主題とする「水鏡」のシリーズに続く新作「Mirror Portrait」による個展を11月26日からタカ・イシイギャラリー東京で開催(12月24日まで)。



(左) SAKURA 16.4-22/2016年
(右) 写真集『Atelier of Cézanne』(Nazraeli Press刊)より/2009年
(c) Ritsaku Suzuki/Courtesy of Taka Ishii Gallery



※ ViewPaintとは

「ViewPaint」は、凸版印刷のバーチャルリアリティエンジンを活用した新しい絵画鑑賞システムです。絵画のデジタルアーカイブデータを作家特有のタッチを損なうことなく3DCG化し、ディスプレイに表示。鑑賞者は、コントローラーを操作することで、描かれたモチーフを、絵画の中に入り込んだかのようにインタラクティブに鑑賞できます。

絵画鑑賞システム『ViewPaint フェルメール《牛乳を注ぐ女》』より/製作・著作：凸版印刷株式会社/監修：小林頼子(目白大学教授)/
Original photo data: Het Melkmeisje [The Milkmaid] by Johannes Vermeer ©Rijksmuseum Amsterdam. Purchased with the support of the Vereniging Rembrandt.

□ 六本木アートカレッジに関するお問い合わせ

アカデミーヒルズ スクール事務局 あて

受付時間: 10:00-18:30 (土・日・祝・年末年始を除く)

※お電話及びメールでの講座お申込は受け付けておりませんのでご了承ください。

電話番号: 03-6406-6200

サイトURL: https://form.mori.co.jp/form/pub/academy/biz_inquiry

VR Visionary Talk 公式Facebookページ



VR Visionary Talk の公式 Facebookページにてイベントの最新情報や開催レポートをお届けします。

<https://www.facebook.com/vrvisionarytalk/>